

## 目 次(イメージ)

## 第 1 部 基本方針の見直しの経緯と背景

- 資料 23
- 1 基本方針見直しに当たって . . . . . □
    - 基本方針見直しの趣旨 . . . . . □
    - 基本方針の見直し方法 . . . . . □
    - 基本方針の位置づけ . . . . . □
  - 2 現状と課題 . . . . . □

## 第 2 部 基本的な考え方

- 資料 24
- 資料 18
- 1 人権及び人権の尊重とは、人権教育・啓発の定義 . . . . . □
    - 人権とは . . . . . □
    - 人権の尊重とは . . . . . □
    - 人権教育・啓発の定義 . . . . . □
  - 2 基本理念 . . . . . □
  - 3 人権教育・啓発の基本的視点 . . . . . □
    - (1) 偏見や差別に気付き、態度や言動に表せるための学びの促進 . . . . . □
    - (2) 当事者意識の醸成と、身近な人権問題の共有の促進 . . . . . □
    - (3) 複合的人権課題への認識 . . . . . □
    - (4) 家庭教育の重要性の認識と、発達段階、ライフステージ等を踏まえた  
効果的な教育・啓発の推進 . . . . . □
    - (5) 命の大切さの実感と自尊感情の育成 . . . . . □
    - (6) 自主性の尊重と中立性の確保 . . . . . □
  - 4 人権教育・啓発の基本的な方策 . . . . . □
    - (1) 市民に届く啓発の推進 . . . . . □
    - (2) 子どもへの人権教育の推進 . . . . . □
    - (3) 人権擁護につながる人権教育・啓発の推進 . . . . . □
    - (4) 地域における支え合いの促進 . . . . . □
    - (5) 職員の人権意識・知識の更なる向上 . . . . . □
  - 5 人権擁護に関する基本的な方策 . . . . . □
    - (1) 市民に身近な人権相談へ . . . . . □
    - (2) 複合的な課題に対する人権擁護の視点を全ての施策へ . . . . . □
    - (3) 居場所づくりと人権相談との連携の促進 . . . . . □
    - (4) 相談員その他相談に関わる職員の更なる質の向上 . . . . . □

資料  
25

- 6 推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 進捗管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 全庁的な推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 関係機関や市民等との連携・協働・・・・・・・・・・・・・・

資料  
26

- 7 伊丹市人権教育・啓発推進に関する基本方針の体系・・・・・・・・

### 第3部 身近な人権課題の現状と課題

資料  
19

- 1 女性の人権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 2 子どもの人権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 3 高齢者の人権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 4 障がいのある人の人権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 5 同和問題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 6 外国人の人権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 7 インターネットによる人権侵害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 8 性的指向・性自認に関する人権侵害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 9 感染症に関する人権侵害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 10 その他さまざまな人権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 用語解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

資料  
20

#### 資料編

資料  
28

- 1 主要な人権課題のこれまでの取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 2 市民意識の現状（令和2（2020）年度伊丹市人権・男女共同参画に  
    関する市民意識調査結果から）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 3 世界人権宣言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 4 日本国憲法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 5 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律・・・・・・・・・・・・・・

\*「障害」の「害」のひらがな表記について＝障害者の「障害」という文語表現について、障がいのある人の思いを大切にすることとあわせ、市民の理解を深めていくためには読み手側が受け入れやすい表現であることが大切と考え、この「基本方針」においては、人や人の状態を表す場合などに「障がい」と表記しています。ただし、法令や条例などに基づく制度や事業などの名称については、「障害」及び「障害者」という表記をしています。